



コストを抑えて適正に施設を管理するために

# 公共施設等総合管理計画を策定しました

☎ 行政経営課 (☎ 826・1111 内線 2384)

★広報紙では、このうち「建築物施設」を中心に、その概要について説明します。

対象となる「公共施設等」

建築物施設：市庁舎、地区公民館、学校など

非建築物施設：公園、駐車場（建築物のない）など

インフラ施設：道路、橋りょう、上・下水道など

【計画策定の目的・計画期間】

日本の人口は今後、徐々に減っていくと予想され、同時に公共施設などの老朽化が全国的な問題となっています。

本市においても、人口や税収が減る一方、公共施設などの改修・更新にかかる費用は増えていくと見込まれ、いままある施設をそのまま維持し続けることは難しいと考えられます。

そこで、保有する公共施設について、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、将来にわたって持続可能な行政サービスを維持できるように、『土浦市公共施設等総合管理計画』を策定しました。

計画期間は平成28年度～67年度の40年間で、

◆年齢別人口の推計

年齢	平成27年度	平成67年度	人口増減率
年少人口 (0～14歳)	17,261	15,377	-10.9%
生産年齢人口 (15～64歳)	86,213	57,344	-33.5%
老年人口 (65歳以上)	38,164	39,888	4.5%
合計	141,638	112,609	-20.5%

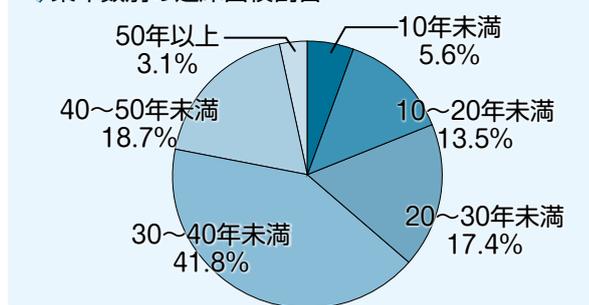
※年齢不詳者を除く

課題1  
今後、人口と税収は徐々に減っていくと見込まれます

市では、人口減少をくい止めるためにさまざまな取組を実施していますが、それでもなお40年後には29,029人(平成27年度比20.5%)が減り、特に20代～50代を中心とする、生産年齢人口が減少すると予想されています。

これに合わせて、税収などの市の収入も減少していくと考えられます。

◆築年数別の延床面積割合



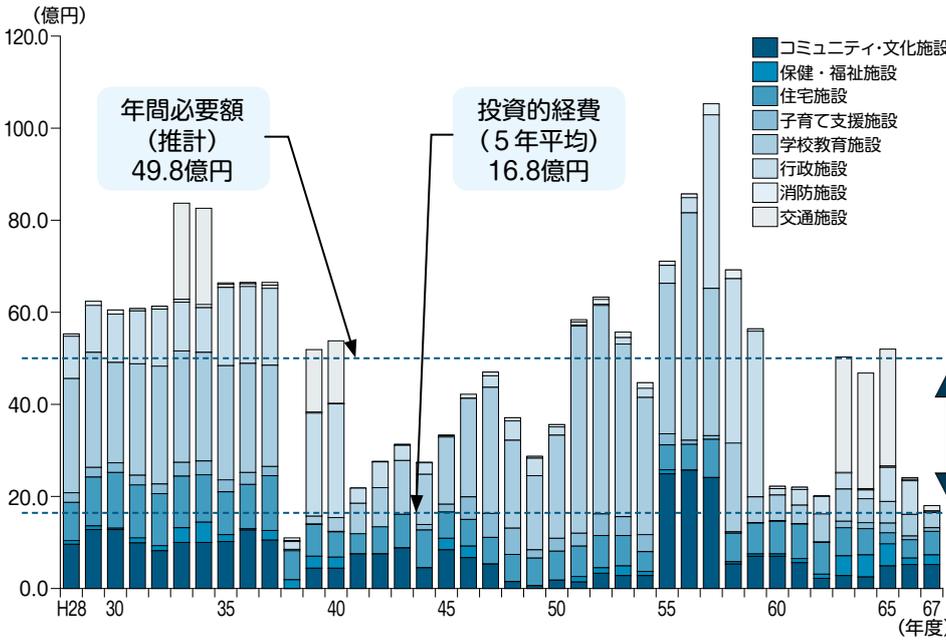
本市の建築物施設は、昭和40年代に建てられたものが多く、築30年以上の施設が全体の半数以上を占めています。これらの施設は老朽化が進み、同時期に修繕や建て替えが必要になります。

課題2  
建築物施設の老朽化が進んでいます

人口が減って、税収も減る。施設はどうなるんだろう？今まで通り使えるのかな？



◆建築物施設の改修・更新費用推計



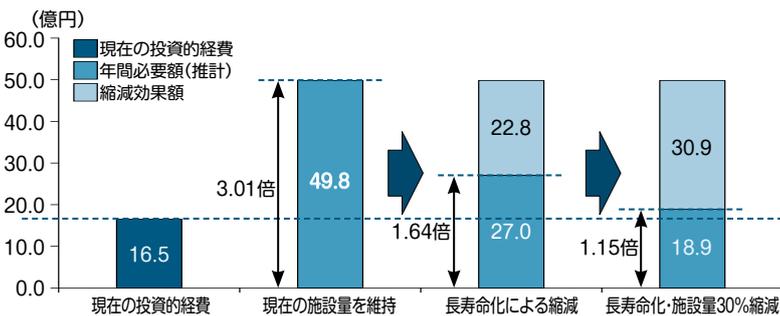
課題3  
近い将来、施設の更新に多額の費用が必要となります。現在の建築物施設を全て改修もしくは建て替えた場合、今後40年間にわたって、毎年49・8億円の費用が必要となります。それに対し、市の直近5年間の施設整備関連費用は平均16・5億円です。

課題3  
近い将来、施設の更新に多額の費用が必要となります。

つまり、今ある全ての施設を維持しようとする、現在の3倍の費用がかかることとなります。

このような課題を解決するため、公共施設等総合管理計画では、次のような目標を掲げています。

◆長寿命化・集約化などによる改修・更新費用の縮減効果



◎施設の長寿命化により、施設修繕・更新にかかる費用を抑えること

◎床面積の縮減、施設の複合・集約化を進め、40年後の公共施設（建築物）の総量を現在の30%縮減すること

取組目標  
施設の総量を縮減しつつ、長寿命化してコストを抑えます

★非建築物・インフラ施設についてや計画の詳細など、詳しくはホームページをご覧ください。



将来に負担を残さないためにも、今のうちから施設を適正に管理していかないといけないんだね！

今後の方針  
全庁的な組織を立ち上げ、施設の適正管理を進めます

全庁体制の推進本部を立ち上げ、公共施設などの現在の状況をくわしく分析します。さらに、分析結果をもとに、市民のニーズや政策との整合性を考慮しながら、公共施設に関する長期的な見通しを立てることにより、適正な施設管理を進めていきます。

